

<教育理念・目的>:自己評価について支持する。

<教育目標>:自己評価について支持する。

<教育課程の経営>:自己評価について支持する。

<教授・学習・評価過程>:自己評価について支持する。

<経営・管理過程>:自己評価について支持する。

・学習及び実習指導について

学生の個別対応は丁寧である。留年率は下がっている。

・国家試験対策について

丁寧な指導である。合格率は前年度を上回った。学生には、普段の勉強が国家試験対策につながることや、終講試験の間違ったところを見直すなど、コツコツと努力することを伝え続けていただきたい。また、生活態度面では、睡眠時間を確保し、授業に集中できるよう引き続き指導願いたい。

・教員の仕事満足度について

授業の準備時間の確保が難しいことが課題だが、超過勤務時間数は昨年度より減少。教務事務職員の採用で教員の負担が少し減っている。仕事を均等に分担することは難しいかもしれないが、今後も教員の負担を軽減し、仕事満足度を高め、教員の定着を図っていただきたい。

<入学>:自己評価について支持する。

・情報発信について

ホームページに加え、他の SNS を活用してはどうか。楽しい雰囲気やリアルタイムの発信をつくりあげていけたらよい。

・学生確保について

潜在的なニーズはあるが入学者は一定数に留まっている。既卒者の割合が多いので、その層に向けての発信も行っていく。看護師確保対策に取り組んでいる地元病院ともリンクしながら、柔軟に働き続けられる看護職の魅力を伝えていただきたい。

隣県南部とは、県境の壁をこえ生活圏として結びつきが強い。地域の理解を得ながら、地道に対象者の掘り起こしを行っていく。また、啓発対象を高校生から中学生に拡大するなど、市町村、中学校への働きかけを行う。併せて、立ち寄ってもらいやすい看護学校を目指していただきたい。

<卒業・就業・進学>

・自己評価について支持する。

<地域社会／国際交流>

・自己評価について支持する。

<研究>

・自己評価について支持する。

<その他>

・令和5年度から、地域の臨地実習施設関係者、教育分野の有識者に参画いただいた。

また、学校評価においては、重点目標及び評価指標を明示・追記した。